

6月『磯あそびとトコロテン作り』

～全行程アルバム～

2010年6月13日(日)

今回は天気が心配されましたが、曇り時々晴れという絶好の磯あそび日和となりました。総勢31名の体験イベントを無事終了いたしました。

前回と行く場所がちがいましたが、楽しさは前回同様です。写真の一部を紹介しましょう。

～市進ウイングキッズ～



今回参加された方のほとんどが、本格的な磯あそびは初体験。はじめはこわごわと海に入っていた皆さんが、いつの間にか時間も忘れて熱中していました。

海の生き物も、魅力がいっぱい。

なかには、現地スタッフも驚くような生き物も見つけられました。とても運が良かったようです。



《到着～そして説明》



大房岬(たいぶさみさき)少年自然の家のスタッフから、まず海に危険な生物について説明を受けてます。

「こういう生き物を見たら、絶対にさわらないでね！」

でも実際には現地のスタッフも見たことがないそうです。



説明の後、さあ、海へ向けて出発です！

少年自然の家から海岸までは、歩いて10分程度。こんなに木がうっそうと生えたところを通ります。

実は、大房岬は戦時中は軍の要塞となっていたところだそうで、民間人は出入り禁止だったそうです。だからこんなに樹木が残っているのだとか。

夜は現地スタッフでも気味が悪いほどだそうですよ。



「今日は、磯あそびには絶好の天気だ！」
しかも、行った日がちょうど大潮で、潮
がいっぱいにひいているらしい。
みんな、期待でワクワク。



海へ出る途中、こんな立ち枯れの木が…
「これは、コゲラが開けた穴だよ。ヘビ
が入ってきてもすぐに逃げられるように、
穴を最低3つ開けるんだ。」



《海へ！そして磯あそび！》



「さあ、海だ！」

風がおだやかに吹き、寒くもなく、
暑くもなく、ちょうどいい。
ホントに磯あそび日和です。

期待が高まります。

まずは、生き物の見つけ方を教わります。

「岩をひっくり返すと、生き物が見つかる
よ！」

「でも、元に戻すときはそっと戻してね。
生き物がびっくりしちゃうから。」

「つかまえてもいいけど、バケツに入れた
ら、水を時々換えてやってね。」



生き物をどんなふうに大切にするかも教わります。誰ですか？つかまえて食べようなんて言うのは！

海に入っすぐ、すごいものが見つかりました。
ウミウシの仲間だそうですが、太古の昔の姿を残しているため、貝がまだついているのだそうです。
現地スタッフも初めて見たとか。

それにしても、
「ヌルヌルしてて気持ちワルイ〜」

「いやいや、皆さんぜひさわってください。」



「みんな、タコの吸盤に吸い付かれたことない
でしょう？ほら、平気だからどんどんさわって
みてごらん？」

この時点では、誰もさわろうとしません。

「これくらいの大きさのタコがたくさんいる
から、みんなつかまえてね！」

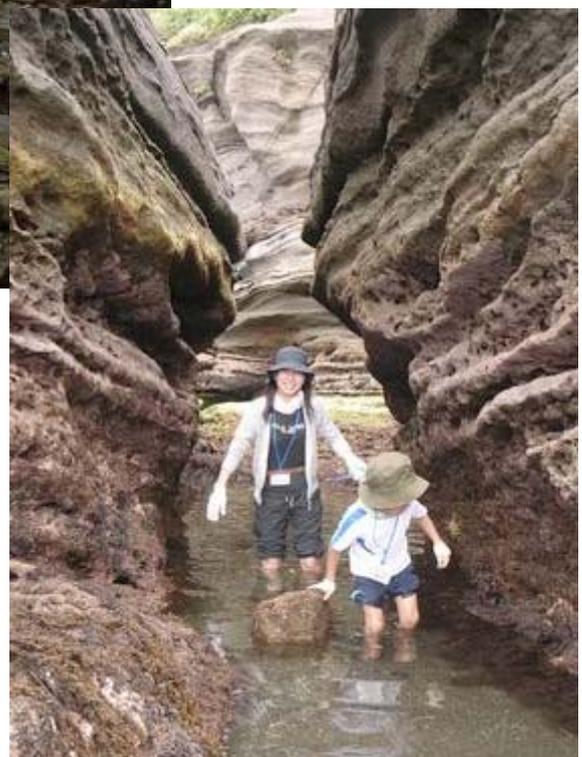


ずいぶん、なれてきました。皆
さん、もう夢中です。

時折、トビが近くまで舞い降り
てきても、誰も気づきません。

すごいところを見つけましたね。

「探検してる気分ですよ〜」





これ、なあんだ？

海藻じゃないですよ～

(答えはあとで、わかります)



「うへえ！何これ！」

ナマコって言うんだよ。



ほう、今回はタコですか。

それにしても、大きい！

現地スタッフも大きさに驚いてました。

後ろの子が、「でっけえー！」と驚いてます。



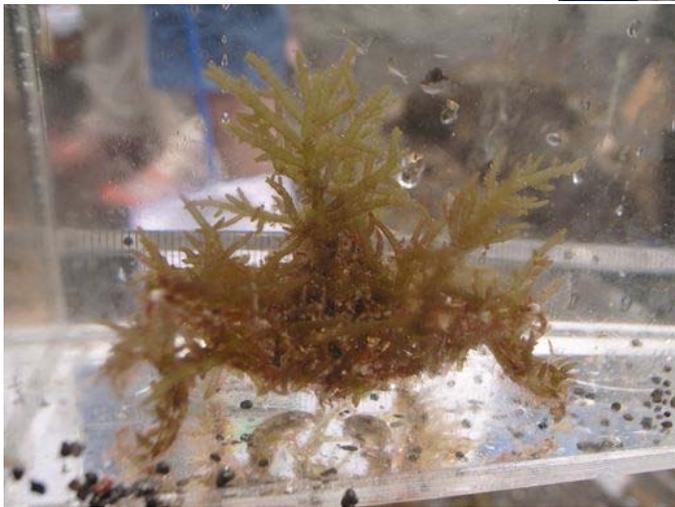
(ところで、タコの口ってどこにあるか知ってます？)



「さあ、みんな集まって～」

現地スタッフが、みんながつかまえた生き物について詳しく解説してくれます。

子供たちも興味津々



足があるのわかりますか？
海藻を背中にくっつけて歩く「カニ」だそうです。

名前を「イソクズガニ」というそうです。日本では
房総でしか見られないとか。

それにしても、よく見つけたなあ。

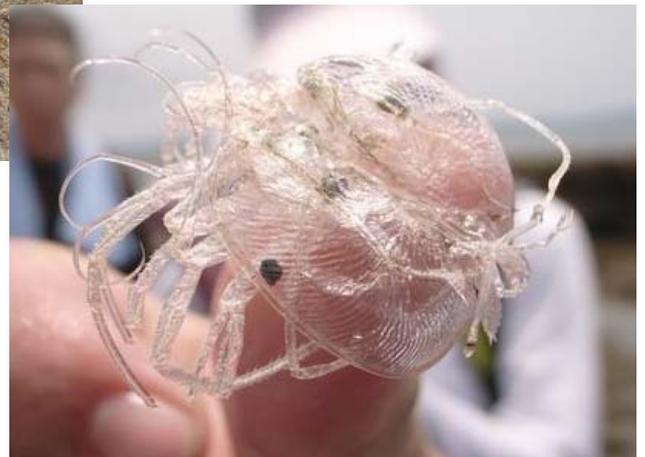


「これ、何ですか？」

やっぱり、おともも楽しんでます。

ほう、これはすごい！
カニの幼生（ゾエア幼生）の抜け殻。

現地スタッフも
「こんなに大きいのは初めて見た！」
と感心しきり。



《昼食と休憩》

磯あそびをひとしきり楽しんだあと、芝生の上で昼食です。

お母さんの作ったおべんとおいしそう！



現地スタッフも一緒にのんびり



昼食後は30分の自由時間。シーグラスを集める子、砂鉄集めに熱中する子、現地スタッフの説明に耳をかく大人。みんな、それぞれが自然を楽しんでいます。



←これは、戦時中に魚雷を発射した石のレールだそうです。

《トコロテン作り》

昼食後に、少年自然の家に戻って、トコロテン作りを楽しみました。



現地スタッフから、作り方の説明です。

「みんな、トコロテンで何からできるか知ってる？」

「テングサあ〜！！」

「そう、よく知ってるねえ！」

パワーポイントも使って、テングサからどんなふうにするのかも説明。

「こうやって、洗っては干し、洗っては干しを4〜5回繰り返すんだよ。」



これがテングサ。少し磯の香りがします。
何度も干すと、だんだん白くなっていきます。
これを煮る前に、もう一度洗います。

さあ、みんなしっかり洗うんだよ〜！





よ〜っく、水気を切ってね。
ぎゅっと絞るんだ！

大きな鍋に入れて、煮始めます。



煮ている間にクイズです。
トコロテンって、漢字で書くと？



「みんな書けた？」

「はい！」

正解は「心太」ですよ！
書けた人に拍手！

今回は、子供たちも食べられるように黒蜜を
かけて食べました。

「おいしい？」

「とっても、おいしい！」

実際に食べたのは、前日から現地で
用意されたものです。





食後には、近くの農家のご厚意で、おいしいピワが。
これもとても甘かった！



最後に、少年自然の家の前で、パチリ。「お疲れ様～」

今回は磯あそびがメインでしたが、誰も飽きず最後まで夢中で生き物を見つけている姿が印象的でした。実際に生き物について詳しく教えてくれる方がいたので、単に生き物を見つけるだけではない楽しみを感じてくださったようです。ご父母のアンケートにも『現地スタッフの詳しい話が聞けて、大変楽しかった』というものがありました。

また、前回と今回の両方に参加された方から、親子での共通の体験で、会話が増えたというお話も伺いました。うれしいことです。

※参加者の方には写真の使用についての承諾を得てあります。

撮影…市進ウイングキッズ企画室：日高（一部、松村様から写真を拝借いたしました）